

いしきの まき

No.
48

議会だより

平成28年8月12日発行

新正副議長の紹介	2
第2回定例会	4
各常任委員会審査報告	6
19人が一般質問で市政を問う	9
平成27年度政務活動費執行状況	17

『第19回 議場コンサートの様子』



新議長に丹野清氏、新副議長に大森秀一氏

平成28年第2回定例会初日の6月10日に安倍太郎議長と青山久栄副議長の辞任に伴う正副議長選挙が行われ、選挙の結果、議長に丹野清議員が、副議長に大森秀一議員が選出されました。

また、今定例会では、各常任委員会、議会運営委員会の委員の改選が行われたほか、特別委員会が設置されるなど、新しい議会構成が決まりました。

議長就任のあいさつ

丹野清議長

不肖私が議長選挙において、多くの議員各位のご支持を賜り当選人になりましたことは、私自身にとりまして、身に余る光栄と存じます。また、その責任の大きさを改めて感じている次第であります。

議長としての職務として、議会を円滑に運営し遂行していくためには、議員各位のご支援とご協力が不可欠でございます。

今、本市は、東日本大震災から5年3か月が過ぎ、石巻市震災復興基本計画に掲げる再生期の3年目として復興期間の折り返しを迎え、これまでの復興事業の進展は、目に見える形で進んでまいりましたが、未だなお、仮設住宅などには、多くの被災された市民のみならず、不自由な生活を余儀なくされており、さらなる復興事業の推進を図らなければなりません。そのためにも執行機関と議会が一体となって、本市の復興再生に取り組みなければなりません。重要な時期であると認識し、常に市民の目線で市民のために開かれた中立公正かつ円滑な議会運営にある覚悟でございます。また、議会は市の意思決定機関として、市民の代表としての役割と責務の重大さを

認識し、負託と信頼にこたえていく所存であります。

今後とも、議員各位のご指導とご協力を心よりお願い申し上げます。議長就任のあいさつといたします。

副議長就任のあいさつ

大森秀一副議長

この度の、副議長改選にあたり多数の議員諸氏のご推挙により、副議長当選人となりました事は、身に余る光栄と感謝に堪えません、また責務の重要さを感じるところであります。私の役目とするところは、丹野議長をアシストするところであり、円滑な議事運営となるよう黒子に徹底してまいります。

震災から5年が過ぎ、復興基本計画は28年度が折り返しの年となり、再生期から発展期に引き継ぐ時期であり、大変重要な時期と認識するところですが、熊本の大地震や自然災害がいたるところで発生し、当地域が風化される事が懸念されることとあり、情報発信の重要性を感じております。復興が途切れることのないように当局と議会が手を携えて頑張っておりますので、よろしくご指導のほどお願い申し上げます。

議長・副議長の選挙結果

【議長選挙】

投票総数 …… 29票
有効投票 …… 29票
無効投票 …… 0票
有効投票中 丹野 清 議員 …… 27票
庄司 慈明 議員 …… 2票

【副議長選挙】

投票総数 …… 29票
有効投票 …… 22票
無効投票 …… 7票
有効投票中 大森 秀一 議員 …… 22票

新しい委員会構成等を紹介します

常任委員会

総務企画委員会

市政の企画、財政運営、市税、情報公開などに関することを審査します。

- 委員長 木村 忠良
- 副委員長 奥山 浩幸
- 委員 山邊 拓朗
- 委員 山口 莊一郎
- 委員 阿部 欽一郎
- 委員 庄司 慈明
- 委員 西條 正昭

保健福祉委員会

介護、国民健康保険、福祉、市立病院などに関することを審査します。

- 委員長 阿部 正春
- 副委員長 高橋 憲悦
- 委員 楠石 光弘
- 委員 千葉 眞良
- 委員 水澤 富士江
- 委員 近藤 孝
- 委員 伊藤 啓二

環境教育委員会

戸籍、環境衛生、ごみ処理、教育などに関することを審査します。

- 委員長 櫻田 誠子
- 副委員長 阿部 利基
- 委員 首藤 博敏
- 委員 大森 秀一
- 委員 阿部 正敏
- 委員 安部 敏
- 委員 青山 久栄

産業建設委員会

農林水産業、商工業、観光、労働、都市計画、市営住宅、公園、道路、下水道などに関することを審査します。

- 委員長 千田 直人
- 副委員長 遠藤 宏昭
- 委員 黒須 光男
- 委員 阿部 久一
- 委員 森山 行輝
- 委員 高橋 栄一
- 委員 後藤 兼位

議会運営委員会

議会を円滑に運営するため、必要な事項を審査します。

- 委員長 遠藤 宏昭
- 副委員長 櫻田 誠子
- 委員 高橋 憲悦
- 委員 千葉 眞良
- 委員 奥山 浩幸
- 委員 阿部 利基
- 委員 水澤 富士江
- 委員 近藤 孝
- 委員 後藤 兼位

特別委員会

総合防災対策特別委員会

東日本大震災の教訓から、今後の大規模災害等の危機に備え、減災・防災対策の推進を図るとともに東北電力女川原子力発電所の安全対策のほか、これまでに無かった新たな災害に対しても安全・安心な市民生活を確保するため、必要な調査・検討を行うことを目的に設置しています。

- 委員長 阿部 久一
- 副委員長 山口 莊一郎
- 委員 遠藤 宏昭
- 委員 阿部 正敏
- 委員 阿部 欽一郎
- 委員 青山 久栄
- 委員 庄司 慈明

東日本大震災復興創生特別委員会

東日本大震災からの市民生活の再生に向けて、石巻市震災復興基本計画に基づいた各種施策の着実な実施を図り、復興・再生に向けた事業の加速化のみならず、事業の進捗が遅れている半島沿岸部については、新たなまちづくりを含めて復興を創生していくための総合的な対策について、必要な調査・検討を行うことを目的に設置しました。

- 委員長 阿部 利基
- 副委員長 奥山 浩幸
- 委員 黒須 光男
- 委員 首藤 博敏
- 委員 安部 太一郎
- 委員 高橋 栄一
- 委員 西條 正昭

地方創生推進特別委員会

石巻市人口ビジョンで推計されている人口の減少に歯止めをかけるため、定住促進対策や新たな産業の振興と雇用の創出などについて、必要な調査・検討を行うことを目的に設置しました。

- 委員長 近藤 孝
- 副委員長 楠石 光弘
- 委員 高橋 憲悦
- 委員 千葉 眞良
- 委員 水澤 富士江
- 委員 森山 行輝
- 委員 伊藤 啓二
- 委員 後藤 兼位

石巻地方広域水道企業団議会議員

- 議員 高橋 憲悦
- 議員 阿部 利基
- 議員 山口 莊一郎
- 議員 水澤 富士江
- 議員 近藤 孝
- 議員 阿部 欽一郎
- 議員 伊藤 啓二
- 議員 高橋 栄一
- 議員 後藤 兼位

石巻地区広域行政事務組合議会議員

- 議員 黒須 光男
- 議員 千葉 眞良
- 議員 遠藤 宏昭
- 議員 櫻田 誠子
- 議員 阿部 正敏
- 議員 阿部 欽一郎
- 議員 森山 行輝
- 議員 庄司 慈明
- 議員 西條 正昭

宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員

- 議員 大森 秀一

監査委員

- 委員 渡辺 拓朗

条例や補正予算など68件を可決

平成28年第2回定例会は、6月10日から6月28日までの19日間の日程で開催されました。

今定例会では、条例や補正予算など市長提出議案68件が提出されました。

審議の結果、すべて原案のとおり可決、承認、同意されました。

第2回定例会に提出された 議案と審議結果

予 算 (原案可決)

平成28年度

- 石巻市一般会計補正予算(第2号)
- 石巻市土地取得特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市産業用地整備事業特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 石巻市病院事業会計補正予算(第1号)

条 例 (原案可決)

- 石巻市夜間急患センター条例
- 石巻市議会議員及び石巻市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例及び石巻市長の選挙におけるピラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市市税条例の一部を改正する条例

そ の 他 (原案可決)

- 石巻市都市計画税条例の一部を改正する条例
- 石巻市学校給食センター条例の一部を改正する条例
- 石巻市保育所条例の一部を改正する条例
- 石巻市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 石巻市老人憩の家条例の一部を改正する条例
- 石巻市市営住宅条例の一部を改正する条例

指定管理者の指定について

(石巻市北村老人憩の家)

財産の無償譲渡について

(建物等：石巻ロイヤル病院、その他附帯設備及び備品)

(土地：石巻市南境字金沢1033番8)

(建物：共同利用漁業倉庫(膜構造鉄骨造)4棟)

工事委託に関する年度協定の締結について

(市道門脇町三・四丁目1号線道路改良事業(仮称)鎮守大橋橋梁整備工事に関する平成28年度協定)

(平成28年度における石巻市公共下水道(雨水排水ポンプ場等)施設の災害復旧及び復興事業に係る建設工事委託に関する基本協定の建設工事委託に関する年度実施協定)

財産の取得について

(石巻市営清崎復興住宅)

(小型動力ポンプ付積載車・消防ポンプ自動車(市町村振興 石巻地区分)

(小型動力ポンプ付積載車・消防ポンプ自動車(災害復旧 石巻地区分その1)

(仮称)石巻市営大街道東二丁目復興住宅)

(仮称)石巻市営大街道東二丁目復興住宅)

(仮称)石巻市営中浦一丁目復興住宅)

(仮称)石巻市営中浦二丁目復興住宅)

(石巻市営荻浜復興住宅)

(石巻市営船戸復興住宅)

(石巻市営にっこり北復興住宅)

(石巻市営鮫浦第二復興住宅)
財産の処分について

(土地：石巻市広瀬字焼巻2番ほか29筆)

(土地：石巻市須江字豊石前1番14)

(土地：石巻市須江字豊石前1番11)

(土地：石巻市須江字豊石前1番36)

工事請負の契約締結について

(仮称)石巻市水産倉庫建設工事)

(23年災北上漁港海岸保全施設災害復旧工事)

(23年災池ノ浜漁港災害復旧工事)

(金華山公園線道路改良(その2)工事)

(下釜南部地区土地区画整理事業地内污水管渠築造工事)

(上釜南部地区土地区画整理事業地造成道路築造工事)

(下釜南部地区土地区画整理事業地造成道路築造工事)

工事請負契約の一部変更について

(仮称)石巻市水産総合振興センター建設工事)

(仮称)新館三丁目地区復興公営住宅建設その2工事)

(魚町水産加工協同排水処理施設災害復旧その4工事)

(湊西地区土地区画整理事業宅地造成・道路築造工事)

(石巻市不動町地区産業用地造成工事)

工事請負契約の一部を変更する契約の締結について

(魚町水産加工団地汚水管(10工区)布設工事)

物損事故の和解及び損害賠償額の決定について

字の区域を新たに画することについて

字の区域を変更することについて

市道路線の認定について

市道路線の廃止について

市道路線の変更について

人 事

監 査 委 員 ↓ 渡辺拓朗氏の選任に同意

教育委員会委員 ↓ 杉山昌行氏の任命に同意

公平委員会委員 ↓ 森岡精一氏の選任に同意

固定資産評価員 ↓ 保理裕宣氏の選任に同意

第2回定例会で議決した議案の中から

可決された条例の中から

◆石巻市学校給食センター条例の一部を改正する条例

- 東日本大震災により被災した、石巻市湊学校給食センター及び石巻市渡波学校給食センターを統合し整備を進めていた石巻市東学校給食センターが完成し、本年8月から稼働するため、本条例の一部を改正するもの。

◆石巻市保育所条例の一部を改正する条例

- 東日本大震災により被災した旧石巻市立門脇保育所の代替施設として、釜地区に再建中の保育所について、その名称と位置を定めるとともに、多様化する保育需要に効果的に対応するため、民間事業者の活力と手法を生かした保育サービスの確保を図ることを目的に、同保育所に、平成29年4月の開設にあわせて指定管理者制度を導入することができるよう、本条例の一部を改正するもの。

その他の議案から

◆字の区域を新たに画することについて

- 半島部の防災集団移転促進事業による移転団地の多くが字界をまたいでおり、一つの宅地に複数の字があるため合筆ができない、団地としての一体化の醸成が進まないなど、不都合が生じていることから、団地内の字を統一するため、事業区域内の給分浜羽黒下ほか2字の一部を小渕浜北に、給分浜クルミ山ほか4字の一部を小渕浜南に、谷川浜中井道ほか1字の一部を谷川浜光ヶ丘に新たに画することについて、地方自治法第260条第1項の規定に基づき、議決を求めるもの。

可決された補正予算のおもな中身は

今回の補正予算は、社会資本整備総合交付金事業として採択された鑄銭場・住吉町一丁目2号線等道路改良事業に要する経費のほか、復興公営住宅集会所の環境整備、石巻フットボール場の観客席増設に要する経費、臨時福祉給付金の給付に要する経費などを措置したもの。

◆総務費では

- ・集会所の改修等に対する補助金
- ・地域公共交通路線再編等調査に要する経費
- ・社会保障・税番号制度に関する事業に要する経費など

◆民生費では

- ・(仮称)門脇・大街道地区保育所への指定管理制度導入等に要する経費
- ・被災者の支え合い活動支援に要する経費など

◆衛生費では

- ・石巻ロイヤル病院への建物の譲渡にあたり、老朽化した既存施設の修繕費等に対する補助金
- ・平成27年度に採納した災害復旧費寄附金を、医療機器整備費へ充当するために要する経費

◆農林水産業費では

- ・農業経営者の担い手確保、経営発展を支援するための経費
- ・牡鹿地区(谷川浜、大谷川浜)の農業用機械施設整備等に要する経費
- ・被災した漁港海岸において、災害復旧事業の対象外となる海岸保全施設(防潮堤の延伸や陸閘)の整備に要する経費

◆商工費では

- ・観光交流施設の運営会社である、株式会社元気いしのまきへの出資に要する経費など

◆土木費では

- ・長寿命化を目的とした橋りょう等の補修設計及び点検業務に要する経費
- ・大瓜地区通学路線改良工事に要する経費など

◆消防費では

- ・自主防災組織に対するコミュニティ助成事業助成金
- ・地域防災力向上のためのFM中継局改修・設置に要する経費など

◆教育費では

- ・震災の影響による心のケアや学習支援とともに不登校児童生徒のサポートに要する経費
- ・総合運動公園フットボール場観客席増設に要する経費など

◆災害復旧費では

- ・復旧復興事業支援に要する経費
- ・水産加工団地共同排水処理施設の災害復旧に要する経費など



6月14日の本会議で、条例、補正予算などの議案が審議され、総務企画、環境教育、保健福祉、産業建設の各常任委員会に付託されました。

各常任委員会で審査されたことの中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

各常任委員会での審査

総務企画委員会

石巻市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例について

Q 個人番号カードの今後の利活用について伺う。

A 住民票のコンビニ交付での活用、また図書館の図書カードの機能を持たせるなど自治体として対応できるものについては、今年度、検討を始めた。

Q 個人情報の管理及び情報の照会・提供について伺う。

A 個人情報情報の漏えいを防ぐためにも、各情報保有機関の情報を一元的に管理はせず、国が構築する情報提供ネットワークシステムにより、平成29年7月から必要な情報の連携が開始される。

また、情報連携先は、国・地方公共団体・独立行政法人などであり、提供される情報も限定される。

石巻市市税条例の一部を改正する条例について

Q 法人市民税法人税割の税率が全体で3・7%税率軽減されることによる税収への影響と税収減に対する補填措置について伺う。

A 平成28年度当初予算の課税ベースで約3億円の減収見込みであるが、引下げ部分については、国税として地方法人税が創設されており、地方交付税の財源となる。



防災ラジオについて

Q 防災ラジオの受信について伺う。

A 購入者の住所は把握しており、難聴地区とされている区域では、購入申し込み時点でFMラジオ石巻の放送を受信できることを確認して販売している。

Q 防災ラジオの自動受信について伺う。

A 防災ラジオは災害全般において大変重要なツールであること、特に土砂災害地域においては、雨によって、防災行政無線も聞きづらい状況も考えられるため、室内にあるラジオの自動受信機能は大変重要なものと考えている。

環境教育委員会

石巻市学校給食センター条例の一部を改正する条例について

Q 石巻市東学校給食センターの対象となる学校数及び給食数について伺う。

A 5月1日現在では学校数25校、児童・生徒数6017人、配送する給食数は教職員を含め、6631食を想定している。

Q 石巻市東学校給食センターから牡鹿地区への給食配送について伺う。

A 2学期から2台の配送車両で対応することとしており、一番遠い学校では約38キロメートルあるが、おいしく食べてもらえる温度を保ちながら、衛生基準もクリアできる配送になっている。

子どものサポートハウス事業について

Q 子どものサポートハウス事業費内のけやき教室、通所給付費の内容について伺う。

A 家庭の事情などにより、けやき教室に通いたいたけれども、通えない子どものために、タクシー代やバス代の交通費を給付するものである。現在、該当する子どもはいないが、対象者がいることを想定し、半島の一番遠隔地から教室までの交通費を算出し、予算計上している。

保健福祉委員会

石巻市夜間急患センター条例について

Q 夜間急患センターの質の向上について伺う。

A 1次医療を担う夜間急患センターと、2次及び3次医療を

担う石巻赤十字病院が隣接すること
で、急病患者の症状に合わせた速やか
な処置、対応が可能となり、また、患
者増が予想される小児科では2診療体
制がとられるように石巻赤十字病院と
協定を締結し医療体制を充実してい
く。

Q 医師や職員の配置状況につ
いて伺う。

A 医師は従来と同様に、地元医
師会、東北大学、その他関係
医療機関の医師の協力により、職員に
ついては常勤医師2人、看護師21人、
放射線技師3人、事務職4人で運営を
行う。

石巻市保育所条例の一部を改正する
条例について

Q 本市で第1号となる保育所の
指定管理に向け、これまでど
のような議論がされ、また、どのよう
な保育を指定管理者に期待するのかわ
かっている。

A や、安定した保育士の確保が
厳しい状況、今後の保育士の年齢バラ
ランスを踏まえた結果、指定管理者制度
を導入するという結論に至り、指定管
理者には民間ならではの特色ある保育
事業を期待している。

Q 指定管理における保育士の処
遇改善について伺う。

A 保育士の給料については、国
が定める公定価格の中に処遇
改善分が加算されており、また、多様
化する就労形態に応じた保育を提供す
るための人件費については、指定管理
料に加算することで対応を行う。

保育所一時預かり保育について

Q 保育所一時預かりの実績につ
いて伺う。

A 平成27年度は、公立保育所で
1914人、私立保育所で2
025人の合計3939人、平成28年
度は、私立保育所では4月が140人
ですが、公立保育所は保育士確保の関
係から休止しており、保育士が確保で
き次第再開する予定である。

産業建設委員会

石巻市営住宅条例の一部を改正する
条例について

Q 既存借上型市営住宅の条件に
ついて伺う。

A 共同住宅や長屋住宅を原則と
して、新耐震基準を満たし、残
耐用年数が10年以上ある平成28年4月
1日時点で空きがある住戸または、完
成して入居可能な住戸であること。
住戸の専用面積は、25平方メートル以

上あることとし、ひとり世帯用の1DK、
1LDK、2DKの上限面積は55平方メー
トル、2人から3人世帯用の2LDK、
3DKの上限面積は65平方メートルであ
ること。浴室及びトイレは住戸内に独
立し、火災警報器は寝室、住戸内の階
段に設置されていること。その他、専用
のバルコニーがあること。また、別途定め
ている選定基準による採点で30点以上で
あることを条件に定めている。

漁港海岸整備について

Q 大須地区の漁港海岸整備の現
状と進捗状況について伺う。

A 工事は既に発注済みであるが、
県道釜谷大須雄勝線の一部区間
で土砂崩れがあり、片側通行のため大
型トレーラーが地区内に入れない状況で
ある。県道は、すぐに復旧する状況で
はないため、工事の作業工程を見直し、
大型トレーラーを使用しなくとも可能
な作業から施工するよう業者と調整し
ているところであり、8月から新しい工
程で工事に入る予定である。

田道町・蛇田新橋線橋梁整備事業に
ついて

Q 当該事業の具体的な内容及び
工事が着工されない理由につ
いて伺う。

A 蛇田新橋の老朽化が震災の影響でさら
に進行していることから、かけかえのた
めの測量調査設計で
ある。

また、北上運河の河川管理者との協
議、橋に接続する道路整備のための用
地買収や家屋の移転交渉、及び橋の上
流側にある水道管移設のため水道企業
団との協議が長期化しているためであ
る。

鑄銭場・住吉町二丁目2号線等道路
改良事業について

Q 用地購入費及び物件移転補償
費の対象エリアと地権者交渉
の経過について伺う。

A 対象エリアは、石巻駅からセ
ブンイレブンを左折して小川
町踏切までの部分である。

交渉経過は、地権者と地元住民へ説
明会を重ね、地権者27名のうち賛成が
17名、保留が7名、反対が3名である。
保留もしくは反対の主な理由は、土地
にかかる部分の道路の線形に対する不
満であるが、道路構造令に基づいた急
な曲りのない道路にするためであるこ
との説明をし、協力をしていたくださ
う努めている。



第2回定例会 委員長報告の様子



第2回定例会 第138号議案 石巻市保育所条例の一部を改正する条例について

第2回定例会 起立採決のあった議案に対する各議員の賛否

議席番号	氏名	第138号議案 石巻市保育所条例の一部を改正する条例	財産の取得について(8議案一括) 第174号議案 (仮称)石巻市営大街道東二丁目復興住宅 第175号議案 (仮称)石巻市営大街道東三丁目復興住宅 第176号議案 (仮称)石巻市営中浦一丁目復興住宅 第177号議案 (仮称)石巻市営中浦二丁目復興住宅 第178号議案 石巻市営荻浜復興住宅 第179号議案 石巻市営船戸復興住宅 第180号議案 石巻市営にっこり北復興住宅 第181号議案 石巻市営鮫浦第二復興住宅
1	黒須 光男	×	×
2	高橋 憲悦	○	○
3	楯石 光弘	○	○
4	首藤 博敏	○	○
5	千葉 眞良	○	○
6	丹野 清	—	—
7	奥山 浩幸	○	○
8	阿部 利基	○	○
9	阿部 正春	○	○
10	遠藤 宏昭	○	○
11	大森 秀一	○	○
12	櫻田 誠子	○	○
13	渡辺 拓朗	○	○
14	山口 荘一郎	○	○
15	水澤 富士江	○	○
17	阿部 正敏	○	○
18	近藤 孝	○	○
19	木村 忠良	○	○
20	阿部 久一	○	○
21	安倍 太郎	○	○
22	阿部 欽一郎	○	○
23	森山 行輝	○	○
24	伊藤 啓二	○	○
25	高橋 栄一	○	○
26	青山 久栄	○	○
27	庄司 慈明	○	○
28	西條 正昭	○	○
29	後藤 兼位	○	○
30	千田 直人	○	○
賛 成		27	27
反 対		1	1

※ ○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席

※ 丹野清議員は議長であるため採決には加わりません。

一般質問

議員19人が登壇 市政を問う!

第2回定例会の一般質問は、6月22日、23日、24日、27日の4日間行われました。今回は19人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をあきらかにしました。その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは、質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

一般質問通告一覧

(※議員名の前に付いている番号は質問順序です)

①黒須 光男

- 1 市街地再開発ビル建設疑惑の97条補償について
- 2 市街地再開発ビル建設疑惑の事業推進業務について
- 3 市の対応と責任について
- 4 亀山市政の瓦解について

②遠藤 宏昭

- 1 市民生活を豊かにする施策について
- 2 亀山市長の道義的責任について

③千田 直人

- 1 教育大綱・活動状況に関する点検及び評価報告書等教育行政について
- 2 「ものう夢ネットワーク」活動拠点整備について

④森山 行輝

- 1 石巻市の諸課題について

⑤奥山 浩幸

- 1 市民の声を活かしたまちづくりについて
- 2 陸上競技場整備計画について

⑥阿部 正春

- 1 サンファンパークとサンファンバウティスタ号の老朽化に伴う今後の市のあり方について
- 2 震災遺構について
- 3 防災ラジオについて

⑦千葉 眞良

- 1 生活の安全安心について
- 2 市立病院再開に向けて
- 3 釜保育所について
- 4 市政教室について
- 5 湊の諸課題について

⑧山口 荘一郎

- 1 被災者自立再建促進プログラムとコミュニティについて
- 2 地方創生総合戦略について
- 3 復興事業への合意形成と事業完了後のフォローについて

⑨水澤 富士江

- 1 「被災者自立再建プログラム」について
- 2 被災者の下水道事業受益者負担金減免について
- 3 「買い取り型」復興住宅の問題点について

⑩高橋 栄一

- 1 水産加工業再生のため、補助率7/8事業の3度目の実施について
- 2 高台移転（防災集団移転）の広場に遊具の設置を

⑪楯石 光弘

- 1 環境問題への考え方とその対策について
- 2 遊楽館周辺の有機的活用について

⑫庄司 慈明

- 1 被災地ゆえの被災地への発信
- 熊本地震の被災地へ私たちのなすべきは何か -
- 2 待機児童の解消めざし
- 人口減・少子化社会とどう向き合うのか -

⑬櫻田 誠子

- 1 骨髄ドナーの自治体支援策について
- 2 ふるさと納税（がんばる石巻応援寄附）について
- 3 プレミアム商品券について

⑭渡辺 拓朗

- 1 公営住宅等について
- 2 下水道計画について

⑮阿部 久一

- 1 地域包括ケアシステムの推進について
- 2 まちづくりについて

⑯阿部 利基

- 1 消滅可能性都市脱却のために
- 2 しんぶん赤旗の庁内配付のその後について

⑰高橋 憲悦

- 1 「真の復興は、市民の元気から」「市民の元気は、行政への信頼から」市長の政治姿勢について伺う

⑱後藤 兼位

- 1 復旧・復興加速の課題と行財政運営について

⑲西條 正昭

- 1 復興公営住宅について
- 2 半島部・沿岸部被災元地の活用について



黒須 光男 議員

・市街地再開発ビル建設疑惑の97条補償について

問 舛添都知事は、一連の疑惑発覚により辞任いたしました。違法性はないと開き直った初動ミス」と言われています。

答 浅野ビルは、多額の国補助が入りますが、補償費の根拠となる写真が「ある。」のか「ない。」のか、はつきりしません。このままでは、舛添都知事と変わりません。この4月8日に山口県萩市と友好都市締結のため、市長と会頭は調印式に臨みましたが、当然写真について話し合っただけです。どうだったのでしょうか。

問 去る6月に担当課長が、浅野理事長に写真を求めたが、「あるが見せられない。」と言っている。萩市では写真の話は出なかった。

・亀山市政の瓦解について

問 辞任した笹野副市長は、この一カ月前、私との話の中で、浅野ビル建設架空工事の疑惑を認めただことから「足元の明るいうちに本庁に帰った方がいい。」と話すと、にっこり笑って「早く戻る。」との返事だったのです。また、水道企業団の技術者も「水道では、こうした疑惑はとても考えられない。」とのこと、市建設部では、どうか。

答 建設部でも、ありません。

意見 先日、AKB選抜選挙後、女王の指原莉乃さんは、「私の一番は、ファンにうそをついていないことが秘訣」とコメント。今後の市政を左右する写真と架空工事について、市長はうそをつかず自らの責任を明らかにすべきでありましょう。



遠藤 宏昭 議員

・市民生活を豊かにする施策について

問 JR仙石線の新駅「石巻あゆみ野駅」の開業を市民はもとより、宮城県石巻西高等学校の生徒も喜んでいます。これまで蛇田駅や陸前赤井駅から自転車で乗り換えて通学していた生徒も、あゆみ野駅からは徒歩で通えるようになったと利便性の向上を実感しています。

答 現在、普通列車は停車しますが、快速列車である「仙石東北ライン」も停車すれば、より一層、便利になると思われるが、市当局の認識はいかがか。



石巻あゆみ野駅を利用する石巻西高の生徒

問 利用客が多い朝の通勤・通学時間帯の時刻設定の適正化、快速列車の停車を、市単独でJRへ要望していく。協力をお願いする。

問 総合運動公園内、石巻フットボール場の施設整備について、2019年ラグビーワールドカップ日本大会のキャンプ地誘致及びべガルタ仙台・復興支援サッカーまつりへ対応するため、関係団体と協議が必要になる。

答 土壌改良や芝の状態を良好に保つため、芝グラウンドの年間維持管理費の増額を検討すべきと思うが、いかがか。

問 議員の指摘を受け、芝生専門業者に管理業務を委託して、利用団体や選手に喜んでもらえる競技場に整備したい。今後も助言をお願いする。



千田 直人 議員

・教育大綱・教育活動点検評価報告について

問 総合教育会議で「教育等の振興に関する施策の大綱」を策定した。これで危機管理体制の強化、チェック機能の強化、民意の反映等子どもたちに良い方向へ変わるのか。

答 これまで以上に迅速対応可能、よりチェック機能が働く、民意の反映は高まり、子どもたちのより良い教育行政に努めたい。

問 学校給食センター整備基本構想と食物アレルギー対応給食への取り組みを伺う。

答 児童生徒数の推移や施設状況を考慮し、統廃合や民間委託を検討する。3学期から食物アレルギー対応で提供する。

問 桃生武道館は老朽化が進む、新築拡張し柔道・剣道の高場に資するべきだが伺う。

答 当面、現施設の改修を行い有効活用したい。

問 桃生球場をナイター照明・電光掲示板に改修すべきだが伺う。

答 今後、他施設の利用状況や市全体の施設配置などを勘案し検討する。

問 「植立山公園整備」その後について伺う。

答 利用団体の要望に、早期の整備実現を目指す。

・「ものう夢ネットワーク」活動拠点について提言

問 「ものう夢ネットワーク」の活動拠点としてインフォメーションプラザを活用されてはどうか伺う。

答 「ものう夢ネットワーク」の意向を確認し検討する。



森山 行輝 議員

・石巻市の諸課題について

問 生活の復興について

ア、仮設住宅の集約見直しについて伺う。
イ、災害公営住宅におけるコミュニティ形成策について伺う。

答 ア、平成31年度には全て解消する予定

イ、入居者が孤立しないよう「復興公営住宅コミュニティづくり支援補助金」の活用を図り対処していく。

問 サンファン号の修繕について伺う。

答 宮城県の歴史的偉業を伝承する大変重要な施設であり、関係各位に強く要望する。

問 公共施設の民間委託についての考え方は。

答 給食センターについては、施設の統廃合や民間委託について進めていく。
保育所については、指定管理者制度による民間委託を含め、配置計画の見直しを行いながら管理運営を検討していく。

幼稚園については、幼保一体化を検討中。

総合運動公園、河南中央公園、追波川河川運動公園については、指定管理者制度の導入について検討中。

複合文化施設についても、指定管理者制度による管理運営を考えている。

第一、第二霊園も指定管理を検討中。

問 増え続け農作物への被害が甚大となっている鹿の対策について、災害援助の考え方で陸上自衛隊に支援要望しては。

答 他市での実績もあり、関係各位に要請していきたい。



奥山 浩幸 議員

・市民の声を活かしたまちづくりについて

問 消防団の操法大会の会場は、これまで時の情勢に左右され開催地が点々としてきた経緯がある。

「追悼と鎮魂」、「防災・減災」の役割を担う石巻市南浜地区復興祈念公園内に、石巻市消防団の操法大会や訓練の場を確保・整備することは重要であり、最もふさわしい場所である。そのような施設を兼ね備えた公園にすべきと考える。また、県の石に認定された地場産財であるスレートや稲井石を地域のPRに活用すべきと考えるが見解を伺う。



第24回 全国消防操法大会の様子

答 市の役割は、多様な市民ニーズに対応することである。今後、実施設計の中で検討していく。

・陸上競技場整備計画について

問 陸上競技場は、本市のスポーツ振興や競技力向上のための必要な社会教育施設である。震災後、石巻圏には、競技大会ができる陸上競技場がなく

なり、本市のスポーツ振興や競技力向上を図る上で支障を生じている。震災によって圏域になくなった施設であることから、整備費の財源獲得には、宮城県はじめ本市、東松島市、女川町の広域圏で連携を取り、知恵を絞って施設整備の早期実現に向け早急に取り組むよう強く要望する。

答 広域圏で連携をとり、早期建設に向け努力していく。



阿部 正春 議員

・サンファンパークとサンファンバウティスタ号の老朽化に伴う今後の市のあり方について

問 市長は県と協力し大規模改修をしたいとしているが、どの様に再建修復していくのか。

答 行政・商工会議所・観光協会・文化協会・サンファン友の会で構成される「復元船の今後のあり方検討委員会」にて検討していく。

問 サンファン館は、文化事業施設、パークは市の観光施設であるため、一体となった誘客活動ができない状況にあるが事業の統一はできないか。

答 パーク、館を会場にサンファン祭りや、夏祭りを両施設が一体となり取り組んでいる所である。

・震災遺構について

問 両校保存という結論に至ったが、今後、どのような段取りで両校、保存に向けていくのか伺う。

答 それぞれの旧校舎については、地域住民、NPO、行政、保存に反対した方も参加した検討会議を設置し、今年度を目標に「震災遺構整備計画」を策定したいと考える。

問 両校保存の維持管理費はどの様にするのか伺う。

答 企業版ふるさと納税や寄附金の活用など、財源確保に向けた取り組みに努めていきたい。

・防災ラジオについて

問 防災無線の難聴解消に向け、3万台準備された防災ラジオ。現在、何台設置され、何台残っているのか。

答 販売会35回開催、在庫数が1万9500台がいまだ在庫として残っている。

問 トンネル内でもラジオを受信する整備はできないか。検討する。



千葉 眞良 議員

・生活の安全安心について

問 各交番の「おまわりさん」の人員配置について

答 石巻警察署管内では、石巻駅前交番が13名の配置で震災前と比較して2名の増、蛇田交番が9名の配置で震災前と比較して1名の増、大街道交番、中里交番、渡波交番がそれぞれ6名の配置で震災前との増減はない。

開成地区臨時交番は、旧湊交番の管轄地域を担当しており、震災前の旧湊交番と同一人員の6名が配置されている。

・市立病院再開に向けて

問 再開は予定通りなのか。

答 9月1日開院予定。

市立病院建設工事については、病院西側に整備している（仮称）石巻市庁舎第二駐車場と併せ、当初の予定通り今月末で竣工する見通しとなっている。

8月からは新病院で本格的に執務を開始し、病院運営マニュアルに基づく各種トレーニングをはじめ総合リハビリサル、避難訓練、ヘリポート運用訓練等を実施しながら、9月1日には予定通り開院を迎えられるよう準備に万全を期し、開院を心待ちにしている市民の期待にこたえていきたい。

・湊の諸問題について

問 湊交番の配置場所と時期について

答 宮城県警本部に確認。

湊交番の配置場所は現在選定中であり、配置時期も未定だが、用地と建物の場所は、平成29年度で予算要求を検討するとの回答があった。



山口荘一郎 議員

・市は「絆と協働の共鳴社会づくり」を施策の柱としているが、実際に企業や地域が市と同じベクトルで復興に取り組めるような下地が作られているのかをテーマに質問する。

問 自立再建促進プログラムにおいて、住宅再建の見通しが立たない方には、宮城県被災者転居支援センターに相談内容をつなぐという表記しかない。絆どころかたらい回しにならないか。

答 県の支援センターにも相談できるという趣旨であり、市で寄り添って支援していくという体制は堅持する。

問 石巻の地域経済循環率は86・5%で市外へ貨幣が流出している。企業が活躍できるような思い切りのよい政策こそが企業との協働であると考え、民間では絶対に行き違えることができない企業間取引機密データをみれる9名の市職員を活用し、分析力のある産業戦略とすべき。

答 データ的に市への流入額が少ない産業もあり、そういった産業の支援にも地域経済分析システムを活用したい。

問 用地交渉において信頼関係を損なう対応で体調を崩される方もいる。行き違いのないよう丁寧な対応、地権者への傾聴の姿勢を求めます。

答 用地交渉では地権者に丁寧に説明して信頼関係を作ることが重要であり、信頼を損ねるような言動や行き違いがあったとしたら申し訳ない。事業を進めるには用地確保が最も重要であり、地権者の声を傾聴していく。

問 「被災者自立再建促進プログラム」について被災した借家が未解体等で復興住宅入居資格がない方への具体的な対応について

答 一定所得以下の場合、市営住宅が受け皿になる。また、プレハブ仮設入居者のうち、政令月収10万4000円以下の場合、民間賃貸住宅入居に家賃補助を一定期間行う。

問 住まいの再建方針未決定1119世帯。復興住宅4500戸で足りるのか。また、市営住宅は全く足りない。復興住宅の市営住宅化はあるのでしょうか。

答 今後自立計画届出書により、住まいの施策必要数を精査、確保していく。

問 復興住宅に被災者以外の入居に係る国土交通省の見解を受けた県の対応方針が出され「入居を希望する被災者がいないことを確認」後、可能。

問 「買い取り型」復興住宅の問題について

答 984戸のうち、335件の住民からの報告があった。施工業者に不具合が出ないよう改めて要請する。それでも、不具合が出た場合は誠実に対応する。



水澤富士江 議員

問 「被災者の下水道事業受益者負担金減免について

答 防災集団移転地、既成市街地の区画整理地域内、共に被災者である。減免措置を。

問 防集は減免。また、区画整理は賦課する予定。

問 被災者の下水道事業受益者負担金減免について

答 防集は減免。また、区画整理は賦課する予定。

問 防集は減免。また、区画整理は賦課する予定。

問 防集は減免。また、区画整理は賦課する予定。

問 防集は減免。また、区画整理は賦課する予定。

問 防集は減免。また、区画整理は賦課する予定。

問 防集は減免。また、区画整理は賦課する予定。



高橋 栄一 議員

・水産加工業再生のため、補助率8分の7事業の3度目の実施について

石巻市にとって水産加工業は重要な産業のひとつであり、人口減少が急激に進んでいる半島部の漁業振興や、湊西地区への水産加工業の集積を進める上で補助率8分の7事業の3度目の実施は必要不可欠なものと考えているが、市長の考えを伺う。

本市の水産加工業の復旧・復興については、補助率8分の7事業のほかグループ化補助金や水産庁の補助事業など各種支援制度を活用して進められており、復興庁から市内全体の加工品の生産能力はおおむね震災前のレベルに回復したのではないかとの見解を示されている。

しかし、各事業所単位では様々な事情でこれから工場を再建するという方もあるので、高率の支援制度が受けられるよう、国に対し強く要望していきたい。

また、必要な国の支援については復興庁で調査検討が行われており、何らかの検討結果がいただけるものと期待している。

問 高台移転の広場に遊具の設置を

答 今後は親子が楽しめる広場として施設を維持管理する担当部署と調整を図りながら、実現に向けて検討していきたい。



楯石 光弘 議員

「私たちは発展するために生まれてきている訳ではなく、幸せになるためにこの地球にやってきたのです。貧しい人とは、少ししか物を持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人の事です。」

これは世界一貧しい大統領と言われたウルグアイのムヒカ前大統領の言葉です。

・環境問題への考え方とその対策について

昨年12月温暖化対策を話し合う国連会議で新たな枠組み「パリ協定」が18年ぶりに採択された。今世紀末まで温室ガス排出量を実質ゼロにする事を目指すのだが、本市の今後10年の新環境基本計画目標値17年比マイナス18・8では、あまりに低く、問題に対する危機感、真剣さが伝わっていない。特に極端な異常気象や海面上昇など温暖化の影響は予測をはるかに上回るスピードで進行していると考えているものだが。

答 目標値は国の推進本部の削減率に従った。

問 極力、車は控え、自転車等を活用し、ごみを減らす等市民一人一人が自然の一員として日々の実践が何より大切と考えるが。

答 市職員自ら実践し目標に向け努力したい。

・遊楽館周辺の有機的活用について

問 パークゴルフ場のコース増設や齋藤氏庭園のPRで魅力アップを図り、遊楽館周辺の連携を図る事が必要と考えるが。

答 パーク5万人、遊楽館10万人プール3万人と利用者が増えている。積極的に検討する。



庄司 慈明 議員

・被災地支援に緊急事態条項は必要ない！

問 『自民党憲法草案』98条・99条の緊急事態条項とは、有事の際、人権を制限する一方、時の内閣総理大臣が全権を掌握するという危険なもの。ワイルド憲法の下で誕生したナチス政権は、暴力で権力を手に入れたのではなく選挙で多数を取ったから、なんと5日後に緊急事態を宣告し国家緊急権を発動した。一月後に独裁政治が合法的につくられた。自民党はその必要性の説明に、大規模災害を例示している。3・11の際には殺人などというデマも流れたが、事実か。

答 そういふ事実は知らない。

問 私は「緊急事態条項などがない現行日本国憲法で、十分あの混乱を乗り越えることができた。」と確信を持っているが、所見を伺う。

答 大規模災害に関しては、法令や運用の改正・改善で対応できると考えている。

・保育所待機児童の解消のポイントとは？

問 民間で保育士募集があると、市の臨時・パート保育士が応募し、市の保育士不足となり、延長保育や病児保育など多様な要望にこたえられなくなっている。結局、処遇改善により保育士のなり手を増やし裾野を広げる必要があると思うが。

答 処遇改善は、財政の厳しさもあり市単独でできる事ではないので、国に要望していく。

問 ①待機児童解消②バランスのある市の財政と人材確保③多様な保育ニーズにこたえる。これが今回の保育所建設とその運営に民間の力を引き出す指定管理制度を考えられた理由か。

答 議員ご指摘の通りです。



櫻田 誠子 議員

・骨髄ドナーの自治体支援について

問 骨髄移植及び末梢血幹細胞移植は、白血病等の血液疾患に有効な治療法である。しかしながら適応するドナーが不足している状況であり献血の際、積極的に登録の推進をすべき。

答 ドナー登録者数は、平成28年3月末において全国で約46万人。石巻市で799人であり、今後献血の時にドナー登録していただけるよう、健康部としても積極的に推進して参りたい。

問 骨髄バンク事業では、骨髄等の提供に際しての検査や入院等に必要経費、医療費等、ドナー側の費用負担はなく、損害補償保険適用もある一方で、提供に伴う通院や入院で休業する時の補償は行われていないため、提供しやすい環境作りに取り組むべき。

答 市役所を含め特別休暇制度のある企業は20社。今後、市内の企業、団体へ、ドナー休暇制度導入への働きかけを実施し、宮城県に対して助成制度の創設を要望すると共に、既に実施の自治体を参考に検討させていただく。

・ふるさと納税(頑張る石巻応援寄附)について

問 石巻市では前年比1.4倍のご協力をいただいた。子育て支援事業に更に充当し、保育所の午睡ベッドの導入等、すべきではないか伺う。

答 保健福祉部門拡充検討、予算的に難しい。

・プレミアム商品券について

問 アンケートで事業所、市民共に盛況で消費喚起が促された。今後の取り組みについて。

答 今後、商品券のみならず、地域通貨等検討。



渡辺 拓朗 議員

・「公営住宅について」

問 市営住宅の入居資格について。

離半島地域から透析治療に通う高齢者は物心共に強い負担を抱えていることから、市街地市営住宅への入居希望がある。公営住宅法上、持家のためかなわぬ。公営住宅法から切り離すため市営住宅の建設費の国庫補助の返済の終了した市営住宅をこの課題を解決するため市条例で運用できないか。

答 可能であり事情も理解するが、被災者で復興住宅入居資格のない方々の移転先にもなり競争率も高いことから現段階ではかなえられない。

問 市営住宅抽選の優遇項目拡充について。

公共事業土地取得等により間接的に民間アパートの退去を迫られた世帯が移転先に市営住宅を希望したこの事情を、市営住宅抽選の優遇項目に追加すべきである

答 間接的でも公共事業土地取得が原因であれば優遇項目に加える。

問 復興住宅の建設戸数について。

復興住宅は計画から供給まで2年を要するゆえ7月の仮設住宅集約化への説明に向かう前に復興住宅不足数を概算でも表すべき。

答 できるだけ早く不足数を割り出し、必要な戸数は建設する。



阿部 久一 議員

・地域包括ケアシステムについて

問 消費税増税延期により福祉政策、特に、地域包括ケアシステム計画に影響は。

答 介護分野では、低所得者の保険料軽減や介護職員の処遇改善策等への影響が懸念される。地域包括ケアシステム推進実施計画に掲げる事業への影響も危惧している。

・まちづくりについて

駅周辺道路整備と交通渋滞対策について

問 南北間道路のセブンイレブンとうめもと薬局の交差点で交通渋滞が発生しやすくなるのでは。

答 将来的には南側への通行も検討していく。

問 市役所・市立病院の丁字路交差点は交通渋滞が発生しやすいのではないか。

答 市役所西側道路に病院への左折専用レーンを新設する計画である。

問 水押方面から踏切を越えて左折して市立病院第二駐車場へ入る事ができるのか。

答 病院へは右折進入できない。左折のみの侵入方法で混雑要因を減らしたい。

問 トラブルの要因になるので予め踏切手前の方に交通案内版を設置すべきである。

答 踏切を越えて、北側道路へ進入する付近に駐車場へは右折進入できない旨の表示を検討する。



阿部 利基 議員

・石巻市の将来について

問 人口増加策のひとつとして、福祉ジャンルをうたっているが、生産人口を増やしお年寄りを支える政策こそが必要で、公金でサービスを拡充すればハコモノ行政同様、負担だけが増えていく。行政も利益を生むというマインドが必要だと思ふが。

答 ご指摘の通りであり挑戦したい。

問 例えば、南中里の合同庁舎跡地など有効に活用すべきと思う。コミュニティ機能を持ったカフェと図書館を併設するなど、被災度の薄い都市部へのテコ入れが必要と思うがどうか。

答 検討したい。

・しんぶん赤旗の庁内配付のその後について

問 その後の調査は、状況推察だけで調査すら行っていない。この政党機関紙を庁内配付することについて、石巻市庁舎管理規則第9条2項に違反しているのではないか。

答 違反とは考えていない。

問 政党機関紙の配付を全面禁止した鎌倉市では同様の規定で禁止した。さらに、私の元に内部告発とおぼしきメールが来ており、パワハラや圧力といった訴えがある。任意で購読されるのは結構だが、庁内でやるから誤解が生まれるとずっと指摘してきた。庁内で配付、勧誘、集金を市議会議員がやっている痕跡があるからこうなる。規則に従い全面禁止にすべきでは。

答 管理規則を見直して対応したい。



高橋 憲悦 議員

・「真の復興は、市民の元気から」「市民の気力は、行政への信頼から」市長の政治姿勢について

問 ①市長選挙で掲げた公約の達成度は。特に、「地域自治システム」の構築支援について

②市民、議会、市役所内の意見や考え方をどのように反映し、実行・決定しているのか。

③「市民の元気・活力」の源は、人と人との良好なコミュニケーションと信頼関係であり、その考え方と取り組みについて。

④行政のトップは、自己の律し方が強く求められる。相次ぐ行政トラブル、職員の不祥事に対する「市長の律し方」について。

⑤任期満了まであと10カ月。今後の市政運営の具体的な取り組みについて。

答 ①地域自治システムは、市内17地区に導入を目指したが、現在3地区のみの設立である。

②市民の方々と懇談会など機会を捉え、市民の声に耳を傾ける。議員からの意見を聴く。

③顔の見える地域コミュニティの形成のためのきっかけづくりとして、支援事業を展開する。

④職員の不祥事（飲酒運転事件）は、誠に遺憾であり深く反省（その責任として市長の給与を減額した。↑このことは、市長の勘違いであることが発覚し、実際に減額していたのは、市営住宅使用料の誤徴収の責任だったため、答弁を訂正することになった）。結局は、職員の飲酒運転事件は、職員個人の責任である。

⑤国の財源を有効に活用し、事業に取り組む。



後藤 兼位 議員

・復旧・復興加速の課題と行財政運営について

問 集団移転促進事業の進捗状況について伺う。

答 市街地の5団地において、813世帯が登録済みで、内555画地を供給し進捗率約68%だ。半島部においては、46区画65団地において、1237画地を造成するが、内51団地565画地が完成。進捗率は団地数で約78%、画地数では約46%。

問 復興公営住宅の進捗状況について伺う。

答 目標整備戸数4500戸の内、5月末の完成戸数は、市街地2512戸、半島沿岸部139戸、合計2651戸進捗率約59%。今年度末完成予定戸数は合計3683戸で約82%の進捗率を見込む。

問 「石巻市被災者支援自立再建促進プログラム（案）」が示されたが、住いの再建方法が決まらない世帯がまだ1119世帯に上る。今後、復興公営住宅に入居申込可能な世帯をどのようにみているのか。

答 生活再建支援課で実施したアンケート調査結果によれば、再建方法が未決定世帯は1119世帯となっている。今後、福祉部で実施予定の再建方法未決定世帯に対する戸別調査の結果を受け、現在の整備戸数に不足が見込まれる場合は、必要戸数の早期供給に向けて着手する。

主張 被災者の住宅再建・居住確保に関しては、災害からの安全・安心の確保が重要な課題だ。行政と政治が真正面から向き合い解決しなければならぬ。



西條 正昭 議員

・復興公営住宅について

問 復興公営住宅建設計画は、民間賃貸住宅も含め、戸数4500戸目標に建設中である。完成予定はいつ頃か。また、それに向けた入居者説明会等、空き戸数の出ないような万全な対策を講じているのか伺う。

答 市街地部は平成29年度、半島部は平成30年度の完成を目指している。入居説明会等について、半島部は事前に説明会を開催し、最終確認をした上で、住宅の建設に着手している。市街地部は、入居先が決定した世帯を対象に、計3回の説明会を開催している。

空き戸数の出ないような対策については、意向確認を行い、適正な供給に努めている。また、全戸が埋まらない場合は再募集し、空き住居とならないよう取り組んでいる。

・半島部沿岸部被災元地の活用について

問 人が住めない「災害危険区域」に指定された土地は、残土や資材置き場、また、雑草が伸び放題の荒地となっている。市が買い上げた土地の面積と、今後の活用について伺う。

答 買い取りした被災元地の面積は、今年5月末現在で、約220ヘクタールとなっている。被災元地の活用については、本市が指定した災害危険区域内の一部において、漁業集落防災機能強化事業による水産関係用地の整備のほか、低平地整備事業による広場の整備や地盤沈下の影響による排水不良等の整備を実施している。

議 場 案 内

会計 管理者	牡鹿 総合支所長	北上 総合支所長	桃生 総合支所長	議 長	局 長	事 務 局					
河南 総合支所長	雄勝 総合支所長	河北 総合支所長	福祉部長	健康部長	財務部長	生活環境 部長	産業部長	建設部長	復興事業 部長		
復興政策 部長	病院局 事務部長	病院局長	教育委員会 事務局長	教育長	市 長	副市長	復興担当 審議監	復興担当 審議監	総務部長		
演 壇											
質問者席											
6 丹野清	5 千葉真良	4 首藤博敏					3 楯石光弘	2 高橋憲悦	1 黒須光男		
18 近藤孝	17 阿部正敏	16	15 水澤富士江	14 山口荘一郎	13 渡辺拓朗	12 櫻田誠子	11 大森秀一	10 遠藤宏昭	9 阿部正春	8 阿部利基	7 奥山浩幸
30 千田直人	29 後藤兼位	28 西條正昭	27 庄司慈明	26 青山久栄	25 高橋栄一	24 伊藤啓二	23 森山行輝	22 阿部欽一郎	21 安倍太郎	20 阿部久一	19 木村忠良

記者席・傍聴席

平成27年度 政務活動費執行状況

会派名	人数	交付額	研究 研修費	調査費	資料費	広報 広聴費	人件費	その他 経費	支出計	残額
ニユー石巻	12	4,320,000		4,283,384				67,084	4,350,468	△ 30,468
石巻復興の会	5	1,800,000		1,760,780				40,252	1,801,032	△ 1,032
創生会	5	1,800,000	221,676	1,305,600	129,600	136,080			1,792,956	7,044
公明会	3	1,080,000		265,320	68,625			12,924	346,869	733,131
日本共産党 石巻市議団	2	720,000	65,940		25,650				91,590	628,410
無会派 黒須光男議員	1	360,000					360,000		360,000	0
無会派 安倍太郎議員	1	360,000		172,479					172,479	187,521

(注) 残額は市に対して返還済みです。また、不足は議員が自己負担を行い、政務活動を行いました。

政務活動費とは

政務活動費は、議員の調査研究における必要な経費の一部として、「石巻市議会政務活動費交付条例」に基づき交付されています。交付の対象や方法などは次のとおりとなっています。

- 交付の対象 会派（1人会派を含む）
- 交付する額 1人につき、年額36万円（月額3万円）
- 交付の方法 年度当初に一括交付
- 使 途 基 準 下記のとおり
- 収支報告書 翌年度の4月30日までに提出。領収書（金額に関わらず全ての領収書）等の写しを添付。



政務活動費使途基準

- 研究研修費 会派が研究会、研修会を開催するために必要な経費または会派の所属する議員等が他の団体の開催する研究会、研修会に参加するために要する経費
- 調 査 費 会派が調査研究活動のために必要な先進地調査または現地調査に要する経費
- 資 料 費 会派が調査研究活動のために必要な資料の作成及び購入に要する経費
- 広聴広報費 会派が行う調査研究活動、議員活動及び市政について市民への広報に要する経費、会派が市民からの市政及び会派の政策等に対する要望、意見を聴取するための会議等に要する経費
- 人 件 費 会派が行う調査研究活動を補助する職員を雇用する経費
- その他経費 上記以外の経費で会派の行う調査研究活動に必要な経費

5月31日、東京都において、全国市議会議長会第92回定期総会が開催され、次の方々が表彰されました。

◎特別表彰（市議会議員在職20年以上）

丹野 清 議員

◎一般表彰（市議会議員在職15年以上）

青山 久栄 議員

阿部 欽一郎 議員

西條 正昭 議員



安倍太郎議長から表彰状を受け取る丹野清議員



青山久栄議員



阿部欽一郎議員



西條正昭議員

熊本地震へのお見舞金を贈呈しました

平成28年5月30日、「熊本地震」により、甚大な被害を受けた熊本県八代市、山鹿市、氷川町にお見舞金を贈呈しました。

被害に遭われた皆さまに対し、心よりお見舞いを申し上げます。



熊本県八代市

「新規採用職員研修」

6月28日、石巻市新規採用職員が研修の一環として第2回定例会を傍聴しました。



議会の動き

5月

- 10日 全国市議会議長会特定第三種漁港協議会定期総会
- 11日 香川県丸亀市議会行政視察来石
鹿児島県西之表市議会行政視察来石
- 12日 議員政策研究会第2分科会
群馬県前橋市議会行政視察来石
東京都葛飾区議会行政視察来石
- 13日 埼玉県川口市議会行政視察来石
愛媛県今治市議会行政視察来石
- 16日 創生会行政視察(～19日まで)
- 17日 ニュー石巻行政視察(～20日まで)
大阪府交野市議会行政視察来石
- 18日 愛知県知多市議会行政視察来石
兵庫県高砂市議会行政視察来石
- 19日 兵庫県芦屋市議会行政視察来石
- 24日 石巻復興の会行政視察(～27日まで)
神奈川県相模原市議会表敬訪問
神奈川県平塚市議会行政視察来石
- 25日 北海道浦幌町議会行政視察来石
- 27日 岩手県議会行政視察来石
- 29日 熊本地震被害自治体訪問(見舞金贈呈)
- 30日 三重県桑名市議会行政視察来石
- 31日 全国市議会議長会定期総会

6月

- 7日 議会運営委員会
総合防災対策特別委員会
東日本大震災復興再生特別委員会
まちづくり促進特別委員会
- 10日 議場コンサート
第2回定例会開会(～28日まで)
本会議(開会、正副議長選挙、提案理由説明等)



- 13日 本会議(常任委員選任等)
- 14日 本会議(条例案、予算案等審議)
- 16日 総務企画委員会
環境教育委員会
- 17日 保健福祉委員会
産業建設委員会
- 20日 議会運営委員会
保健福祉委員会
- 22日 本会議(一般質問)
- 23日 本会議(一般質問)
- 24日 本会議(一般質問)
- 27日 本会議(一般質問)
- 28日 本会議(委員長報告、追加議案審議、閉会)

7月

- 1日 茨城県稲敷市議会行政視察来石
- 5日 ニュー石巻行政視察(～8日まで)
- 6日 神奈川県清川村議会行政視察来石
- 7日 長野県松本市議会行政視察来石
- 12日 北海道七飯町議会行政視察来石
宮崎県宮崎市議会行政視察来石
- 14日 地方創生推進特別委員会
- 15日 神奈川県茅ヶ崎市議会行政視察来石
新潟県十日町市議会行政視察来石
- 19日 創生会行政視察(～22日まで)
石巻復興の会行政視察(～22日まで)
- 21日 北海道江別市議会行政視察来石
- 25日 議会運営委員会
広報広聴委員会
- 26日 第1回臨時会
議員政策研究会第2分科会
- 27日 鳥取県日南町議会行政視察来石
- 28日 公明会行政視察(～30日まで)
千葉県銚子市議会行政視察来石
- 29日 熊本県山鹿市議会行政視察来石

表紙から



6月10日の第19回議場コンサートには、石巻好文館高等学校音楽部のみなさんと小林武史さん(ap bank代表理事)に出演していただきました。

2曲目の「学園天国」では、歌だけではなく、息の合ったダンスも披露してくれました。

20分間と短い時間ではありましたが、観客を魅了する歌声でした。

- 曲目 1. 石巻わがふる里
- 2. 学園天国
- 3. to U

次回の議場コンサートは、12月に開催予定です。

本会議・常任委員会LIVE中継(生中継)

視聴の仕方は、市議会ホームページの

『石巻市議会LIVE中継(生中継)』をご覧ください。



※平成28年 第3回定例会のLIVE中継(生中継)の配信予定は次のとおりです。

日 程	時 間	内 容
9月1日(木)	午後1時～	本会議(開会、提案理由説明)
9月2日(金)	午前10時～	本会議(決算、条例案、予算案等審議)
9月6日(火)	午前10時～	総務企画委員会
9月7日(水)	午前10時～	環境教育委員会
9月8日(木)	午前10時～	保健福祉委員会
9月9日(金)	午前10時～	産業建設委員会
9月14日(水)	午前10時～	本会議(一般質問)
9月15日(木)	午前10時～	本会議(一般質問)
9月16日(金)	午前10時～	本会議(一般質問)
9月20日(火)	午前10時～	本会議(一般質問)
9月21日(水)	午前10時～	本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)

編集後記

6月定例会において、委員会構成が改選され、新メンバーによる「議会だより」の編集となりました。これまでと同様に、市議会の動き、端的に言えば、市当局に対する監視機能としての役割をしっかりと果たしている姿を、市民のみなさんに分かりやすくお知らせすることを心がけて発行いたします。

蛇田・渡波の新市街地が造成され、復興公営住宅への入居も進み、JR仙石線「石巻あゆみ野駅」が開業し、いよいよ9月には石巻市立病院が開院します。

石巻市の新たなまちづくりが、本格的に始まります。我々が暮らしやすい、笑い声が響きわたる「ふるさと」を形づくるために、市民の想いを、そして声なき声を拾い上げ、憂いなく日常生活が送れるような石巻市にします。

丹野清議長を先頭に議員一丸となって復興を進めます。市民のみなさん、これからの市議会に期待をしてください。

広報広聴委員会 委員長 遠藤宏昭



広報広聴委員会

委員長	遠藤 宏昭		
副委員長	櫻田 誠子		
委員	高橋 憲悦	委員	千葉 眞良
委員	奥山 浩幸	委員	阿部 利基
委員	水澤富士江	委員	近藤 孝
委員	後藤 兼位		

DATA 市総人口：148,083人【男：72,071人 / 女：76,012人 / 世帯数：60,910世帯(平成28年6月30日現在)】